

支部だより

夏号 No.57
令和1年7月
電気管理 山形県支部

Internet 配信版



～ 目 次 ～

[支部長あいさつ] 当面の課題について考える	支部長 田中 均	…	1
支部通常総会 & 本部定時総会 開催報告	広報委員 栗田 浩二	…	2
[新会員のご挨拶] 入会にあたってのご挨拶	鶴岡地区 大久保 秀樹	…	3
協会入会について	山形地区 佐藤 博昭	…	3
[失敗は成功のもと] 珠玉の経験談	置賜地区 佐藤 喜由	…	4
たかし君の親愛なるレイチェルとの旅日記（国内編）			
「大人の休日俱楽部」第3回 函館への旅（後編）	酒田地区 本間 隆	…	6
[わが家の宝物] ディズニーランドの思い出	山形地区 長沼 照幸	…	12
[おすすめ SPOT 地元自慢]	天童・寒河江地 清野 一司	…	13
[本部・支部の主な動き]		…	14

表紙のことば

山形地区 会員番号 705 荒井 努

表紙の写真は私が栽培している葡萄です。品種は竜宝という大粒赤玉種です。他にもいろいろな品種約10種類くらい植えています。苗屋さんのカタログやネットショップを見ているうちに欲しくなって買ってしました。

最初の頃は病気や害虫に苦労しましたが、最近は防除のやり方がわかってきて順調に生育しています。今は摘粒といって無駄な粒を落とす作業をしていますが、結構面倒で肩が凝る作業です。でもこれをしないと粒が大きくならないので頑張ってやっています。美味しい葡萄を食べるためには仕方ないですね。

今年も自家製ワインで、友人と飲み会するのが樂しみです。

[支部長あいさつ] 当面の課題について考える

支部長 田中 均

昨年もそうですが、今年も自然災害が続いております。これはなくなりません。でも、被害を最小限にとどめることはできます。我々はその努力をずっと続けていかなければならぬのでしょうか。

私は副支部長を10年間させていただきました。支部長になってからもうすぐ4年が過ぎようとしております。その間事業をこなすのがやつとで、新しいことに挑戦するとか、会員の方に何かできたのかを考えると、何もできなかつたような気がします。しかし、皆さんに助けられ、色々なアドバイスを受け、なんとかやってこられたことに、心から感謝を申し上げたいと思います。

あと9ヶ月あまり、事故等なく、楽しく有意義にやっていけたらなーと思います。私のできなかつたことや必要な改革は、次期支部長に託したいと思います。

業界としては、やはり保安監督部への電子申請がどうなるのか、大変気になるところです。始まる時期は伸び伸びになっておりますが、秋には何かしらの情報が入ってくると思います。

今のところの情報では、①管理技術者が電子書類を作成し、②協会本部がそれをチェックし、③委任を受けた本部担当者が申請ボタンを押下する、といった流れみたいです。（委任を受けなかつた場合は設置者が申請ボタンを押下する。又、書類作成で報酬を得てはダメ）

次の問題として、10年後は、管理技術者の数が相当少なくなるとの予想が出ております。本部からも会員の増強を求められ、理事会に於いては、各県支部ではどんな対策をやっているのかを発表させられることがあります。山形県は、皆様のご協力もあり、会員数はあまり減つておりません。7月7日現在の会員数は58名です。

対策は全技連でも議論しているようですが、

積極的に募集することが求められております。あらゆる機会を利用し、説明会を開いたり、又勧誘パンフレットを作つてアピールすることも必要かもしれません。

入会者の多くは、管理技術者に勧められて入会しております。そのことを考えますと、もっと私たちが積極的に勧誘することが求められているのかもしれません。入会希望者の掘り起こしも必要でしょうし、希望者の不安を解消するための説明会を開くのも有効かもしれません。

まずは若い人に管理技術者の良い面を知つていただき、主任技術者の資格を取得、更に実務経験を経て、技術面でのフォローをし、少しはお客様を分けてあげて、一人前の管理技術者に育て上げなければならないようです。時間もかかりますし、気長に取り組む問題ですが、自分も育ててもらったのだから、今度は自分が育てる番だといった好循環が生まれれば、理想なのでしょうね。

もう一つの問題は、電気保安のスマート化です。I o T・A I・ロボット等を活用して保安管理技術者の負担を軽減することが求められています。とは言っても具体的に何をしたら良いのか、なかなかわかりません。しかし、現時点で私がイメージできるのは、絶縁監視装置を全ての事業所に取付け、電圧・電流・電力・温度・漏洩電流等を自分の事務所で遠隔監視して記録し、グラフ等を作る。又、日常点検も無駄なことはしないで、必要なことを行い効率的に管理するのが良いのではないですか。

ともあれ、我々の商売は体を壊しても誰も助けてくれません。健康第一です。自分の身は自分で守ることが大切です。日本人男性の平均寿命である81歳まで健康で楽しく、又無事故で過ごせたら良いのにと、つくづく思う今日この頃です。

支部通常総会 & 本部定期総会 開催報告

広報委員 栗田 浩二

令和 1 年度 山形県支部通常総会 並びに 第 1 回支部研修会

時：平成 31 年 4 月 24 日(水)
所：山形国際ホテル（山形市）

岸副支部長の司会で進行され、出席者 46 名、委任状 7 名で資格確認され、通常総会が開会されました。

議長には新庄地区の栗田晃一さんが選出され、次の議案が原案通りで可決承認されました。



第 1 号議案

平成 30 年度事業報告、収支決算報告
並びに会計監査報告の件

第 2 号議案

平成 31 年度(令和 1 年度)事業計画(案)
及び予算(案)承認の件

第 3 号議案

役員一部改選の件(技術安全委員、会計)

第 3 号議案の一部役員改選の件では、技術安全委員の大場吉裕さんに代わり東海林健治さんが、また会計は、片岡廣さんに代わり千葉義春さんが選任されました。

休憩をはさみ、研修会では次の内容を勉強しました。

○最近の PCB に関する情報

… 内藤環境管理(株)

○オムロン絶縁監視装置について

… (株)オムロン

○持回り技術発表(無停電年次点検の件)

… 山形地区 荒井会員・長沼会員

○保安監督部への申請に Excel の活用

… 皆川会員



○東北電力(株)より情報提供
… 東北電力(株) 山形支店

恒例の懇親会も盛り上がりました。最後は、大場副支部長の満面の笑みで締めて頂きました。



大変おつかれさまでした。

第 31 回 本部定期総会

時：令和 1 年 5 月 23 日(木)

所：秋田温泉さとみ（秋田市）

本年度はおとなり秋田県での開催でした。山形県支部からは、19 名の出席でした。

以下、本県支部の表彰受賞者の紹介といたします。おめでとうございました。

(敬称略)

◇ 功績者表彰 ◇

会員番号 463 若月 良信

会員番号 471 田中 均

なお、定期総会の詳しい内容は、本部発行の会報をご覧ください。

「入会にあたってのご挨拶」

鶴岡地区 会員番号 920 大久保 秀樹

はじめまして。

私は昭和 52 年生まれの 41 歳、生まれも育ちも鶴岡で、生粋の鶴岡っ子です。

父は電気工事士、息子も電気工事士と親子三代で電気に携わる家系です。

私は昨年の 8 月末に、高校を卒業してから 22 年勤めた東北電気保安協会を退職し、電気管理技術者となりました。

電気管理技術者になったきっかけは、新潟に単身赴任しているとき、紹介者である宅井さんの熱心なお誘いがあり、地元で働きたいとの思いもあったことから、電気管理技術者

になることを決意しました。

管理技術者協会に入会してからは、鶴岡地区はもちろん、酒田地区の先輩方々から多岐にわたるご指導、また暖かいご支援をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

これからは、座右の銘でもある「報恩謝徳」を念頭に置き、保安協会で培った技術力と営業力を十分発揮し、お世話になっている先輩方々へ恩返しし、地元の発展のため精進して参ります。

皆様どうぞよろしくお願ひ致します。

「協会入会について」

山形地区 会員番号 924 佐藤 博昭

私は、自家用電気工作物を有する会社に勤めていました。施設工務課に在籍し、社内設備の維持・管理をしてきました。電気設備だけでなく、建築設備・機械設備・ユーティリティ設備等、社内全体の設備管理が仕事の範囲で、毎日工具箱を片手に工場内を走りまわっていました。

電気設備に関しては、以前電気工事の仕事をしてきたことや、弱電機器設備の修理をしてきた経験が役に立ち、何とかこなしてきましたが、機械設備・ユーティリティ設備はメーカーの研修や講習会、更には独学で対応してきました。

何年か経ち徐々に工場の数も増えた時に、第 3 種電気主任技術者の免許を持っていたこともあり、その工場の主任技術者となりました。

但し、停電作業で行う定期点検は私 1 人では行えず、山形県支部の皆様方のご協力をいただきながら実施しておりました。大変お世話になりました。

去年の定期点検時には、P A S の絶縁抵抗が悪く私一人では対応できず、助言をいただき無事に終了することができました。

去年の末に定年を迎えて退職し、今年の 1 月当協会に入会させていただきました。右も左もわからない新参者ですが、一生懸命勉強して、皆様と一緒に仕事をしていきたいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



仕事上の失敗談、事故事例、ヒヤリハットなどを紹介して頂くコーナーです

珠玉の経験談

置賜地区 会員番号 680 佐藤 喜由

今回の原稿依頼を受け、置賜地区総動員をかけ、経験談をまとめてみました。
まとはずれの内容もありますが、会員の皆様の少しでもお役に立てればと願うところです。

(A 会員より)

○経験したこと

市道を、自動車教習所の教習生が運転する車が、左折のワインカー（右折先は駐車場）を出し接近してきた。

自分はその駐車場から左折して出ようとしており、教習生の運転車両は当然駐車場に入るものと思ったが、そのまま直進し自分に追突しそうになり、たぶん教官の急ブレーキで停止した。

○気付いた事

思い込みはけがの元と思った。

(B 会員より)

○経験したこと

入会して間もないころ、なんとか物件を増やすため飛び込み営業を行ったが、事務員の女性に軽くあしらわれ、けんもほろろに引き上げた。しかしあきらめず、しばらくして事前に電話で、身分と訪問目的を伝え、また責任者への面会希望をお願いしたところ、責任者と面会ができ説明もできた。

見積り提出の約束をとりつけることができ、契約にこぎつけた。

○気付いた事

事前のアポは必要。一度ぐらい断られてもあきらめないことが必要。

(C 会員より)

○経験したこと

作業車のスタッドレスタイヤは2年ごとに交換していた。今回はもう1年乗ろうと思っていたところ、凍結した路面で赤信号でスリップ。ABSは作動したが止まらず、交差点の今まで行って停車。幸い交差する車両と通行人がなかったので大事に至らずホットする。駅前近くの交差点だったが、たまたま交通量が少なく助かった。

○気付いた事

事故を起こしたらタイヤ代どころでないことを改めて認識する。年末だったが、当日すぐ新品タイヤに交換した。

(D 会員より)

○経験したこと

自営として独立したころから移動の車中では、好きな番組を録音して聞いています。30年前はアナログカセット録音。10年前はデジタルチューナー、メモリーmp3録音。数年前からはネットラジオ録音です。困ったことにまれに録音失敗が発生します。OSかウィルス対策ソフトのバージョンか？

とにかく『思わぬこと』が起きるのです。

○気付いた事

主に NHK 第 2 放送の文化講演会・カルチャーラジオです。あくまでも移動中に車の中で“聴く”ことです。ネットではもっともっと専門的に調べられると思います。

せっかくですので、何点かカルチャーラジオの番組を紹介します

“やさしいブラックホール入門”

なんで光まで吸い込んでしまうのに望遠鏡で発見できるのか？

“太陽フレアと宇宙災害”

磁気嵐・地磁気・オーロラなどの話で、地球規模・宇宙規模での通信障害や異常電圧の発生で、発電所の破損・通信設備の破損がいつ起きても不思議でない。障害でなく破損なので、復旧には長時間かかる。カナダ北部のオーロラが発生する変電所では、異常電圧の発生の対策がされているが、日本では少ない。古文書には江戸時代に東京でオーロラの記録がある。

冷戦時代に米大統領専用機の通信不能状態が 40 分続き、ソ連の攻撃か？ 戦争になる？ そんな時もあったとか。

“電池が起こすエネルギー革命”

今では 100V 前後での電圧変換や、周波数の変換は容易にできるようになった。高電圧対応の半導体ができれば直流送電についていくという話。

“中国古典論語” “中国古典易経”

野球の長嶋さんとか、ソフトバンクの孫さんとか、名だたる・経営者がこっそり読んでいるとか。社会での生き方、“戦いかた”など。

一日の終わりに、恐ろしいくらい反省して仕事の質を高めるよう勤めよ。思わぬことで事故は起きますが、質を高めることで信頼を高め事故を減らす方向に。

“生命倫理の視点から死を考える”

認知症は、死を怖いとか恐ろしいと考えないようにする前準備だと思えば気が楽になる？ 医師が「何時何分、ご臨終です。」と言った瞬間から、人間は物になる。

他に

“変わりゆく気候・気象のしくみと温暖化”

“日本の気象変動の実態と将来予測”

“100 歳を元気に楽しむ食生活”

などなど、『聞く』から『聴く』にしていこうと気付きました。

(E 会員より)

○経験したこと

月次点検の時、自家発の起動試験において、試験後に「自動 ⇄ 手動」の切り替えを忘れてしまい 1 ヶ月後の点検で気付いた。

この間、停電等自家発使用の案件がなく事なきを得たが、配線事故などがあれば、契約解除まで発展してもおかしくないケースであった。

○気付いた事

発電機のハンドル及び発電機室入口に、つぎの内容を書いたチェックリストを取り付け、再発防止に努めている。

チェックリスト

○発電機「自動 ⇄ 手動切替」

『自動』かもう一度確認はよいか。

○発電機室の施錠確認をもう一度。

たかし君の 親愛なるレイチエルとの旅日記 (国内編)
「大人の休日俱楽部」第3回 函館への旅(後編)

酒田地区 会員番号 209 本間 隆

函館の旅、2日目です。

8月30日(土) 曇

明け方に起き出して部屋付の露天風呂に入りました。

以前宿泊した湯の浜温泉「○や」ホテルの1人が入るのが精一杯の風呂ではありませんでした。湯船は充分2人で入れそうで、広く使いやすい浴室です。

私たちはそんなに若くありませんので、お互いのピースサインの入浴シーンを撮るために別々の入浴です。

写真をご覧になりたい方は遠慮なくお申し出下さい。ご配信致します。私の湯姿。(笑)

そこを出てからレイチエルは再度大浴場に行きました。

やはり温泉の風呂は大風呂にかぎります。

朝のバイキングも色々な食べ物がたくさんありました。しかし印象に残る物はありません。

お昼の分まで食べようと思ったのですが、やはり昼になるとお腹が空きますので、健康のためにホドホドにします。

ホテルを出掛けに担当の仲居の那須さんが声をかけてきました。

那須「どちらに？」

私 「八幡坂まで行きます」

那須「あそこは急坂ですよ、お車で行った方がいいですよ」

私 「・・・」

以前来た時にその坂の急さはどの位か知つていました。完全に年寄り扱い。

急と言っても羽黒山に比べたら幼稚園の庭山みたいなもの、せいぜい元気な80歳くらいの老人が散歩する、我が町酒田の日和山公園に行く登り坂程度です。馬鹿にするなと言いたい。

そういえばこの一週間前、少しまとめた金額の出し入れがあり、銀行に行った時のことです。

行員「住宅の改築資金ですか？」

私 「いいえ！(どう使おうと俺の勝手じゃい)」

行員「どこかにお振込みですか？」

私 「はい」

行員「その場合、気をつける様にとの指示が出ていますので、お振込先を教えて頂けませんか？」。

ナンじゃこりやあ？振り込めサギにひっかかるとしている中高年のボケ男性を、若手女子行員の機転で未然に防いだという絵を、この行員は頭に描いているのではないか？

そうこうしているうちに、私を知っている古参の美人女子行員が登場し、忘れ物をとりに行つたレイチエルも集合して、なんとか理解してくれたようだ。「失礼しました」だって。

確かに私は銀行には行くことがなく、殆どレイチエルにまかせており、ATMの使い方も分からず、その時はただ単に忘れ物を取りに行つたレイチエルが戻るまでということで、その席に座らさせていただけなのだが。

いっそ私が椅子から立ち上がる時にフライとよろめいて、女房と古参女子行員に抱きかかえられて、自分の車まで連れて行ってもらえばよかったかな。

さてホテルの前からバスで函館駅前まで出て、そこからチンチン電車に乗り換えて末広町で降り、元町に行きます。

墓坂はじめさかを登り、旧函館区公会堂に行きました。途中には旧イギリス領事館があります。

入館無料とありますが、入った所に土産物店があり、奥に資料館みたいなものがあって、そ

こは有料です。手が込んでいるわい。

さて旧函館区公会堂に向かいます。ここからが我々の常套手段、他のツアー客に混じりガイドさんの話を一緒になって聞きます。

無為に廻るより、ガイドさんの話を聞いて廻った方が捉え方も随分すすみます。

元町の街並みの説明やハリストス正教会、天主公教会カトリック教会の説明など、このガイドさんから教えてもらわなかつたら見落とす部分が多かったと思います。



(ハリストス正教会前にて)

ハリストス正教会については、前回 10 年前に訪れた時には殆ど何も感じなかつたのですが、今回は違いました。

入場者が少なく、ゆったりした時間を持てたからなのかも知れません。

同じ賛美歌が繰り返し流れてくるのが、ほんの少し耳障りでしたが、そんなに音量も大きくなく、心の安らぎのほうが大きいです。

内部は広くなく 20 人ほど入るといっぱいになる聖堂で、どんな集会をもたれたのでしょうか？

『天主公教会』、この名前の由来は第二次世界大戦中に、敵国の宗教ということで迫害を避けるために名前を変えたのだそうです。

名前は変えても、やっていることをみればすぐ分かるのではないかと思いましたが、行政側が騒ぎを大きくしたくなかったので黙認していたのでしょうかね。

お昼は函館の友人から教えて頂いたホテル「ラビスタ」の内部にある、スペイン料理店に行きました。

ただしこを教えてくれた彼女は行ったことがないので、お味は保証しないそうです。

そこでパエジヤ (パエリア=西洋風炊き込みご飯) を注文します。ワインは赤ワイン。このワインが実に美味しい。あっさりしていても深みがあるスペインワインでした。

ところがあ、パエジヤ。こりゃなんじゃ？

4~5 年前に東京駅で駅弁として出していたパエジヤのほうが美味かったと思います。

その他に何か注文したものがあった筈ですが、思い出せません。レイチエルの好みに合わせて、貝類だったような気がします。

さて午後は 13:15 発、函館山登山バスに乗車。4~5 合目より上は霧とのこと。下は曇でも雨の降る様子は全然ありません。標高がせいぜい 300m くらいの山に霧がかかる、これは温暖の変化が急な津軽海峡の影響でしょうか。

案の定、上に行くに従つて下界が見えなくなつてきます。

頂上に行っても何も見えず、結局建物の二階にあった映写室で『輝きの街函館』という映画を有料で見て終わりました。400 人くらい入る館内の入場者は、私達二人だけでした。

ところでこの登山バス、行きも帰りも乗客数を会社に連絡しておりました。

たしかかすかな記憶によると、函館山は以前遭難者が出了たという山だったからでしょうか。

14:40 には函館駅近くの赤レンガの明治館に戻り、ここでレイチエルと私は別行動をします。別に喧嘩したわけでもなく、前回土産物店ばかりの赤レンガを廻った時に、私は退屈してレイチエルにはついていけなかつたのです。

レイチエルもそばで私にイライラされるよりはその方がいいと言って、私は『垢擦りエステ』に行きました。

場所は湯の川観光ホテルでしたが垢擦りに付き物のサウナがありません。

案の定、垢の出が少なく、垢もフラストレー

ションもたまりました。

午後から何かしら気分が落ち込んでいると感じ、また鬱状態になったかなと感じながら宿泊先の渚亭に戻ります。

そこで再度大浴場に行き、目の前に広がる津軽海峡と頭に雲を抱く函館山を眺めながらの大展望露天風呂で、気分をさっぱりさせました。

部屋に戻るときエレベータを降りようとしたら、目の前に背の丈が 180 cm 以上もある大柄なボーイが生ビールを二つお盆に載せて、幅が 1m 位の狭い出口のまん前に立ってどうぞとしません。私は横をくぐり抜けて降りました。

「お前は馬鹿か？」と呆れて言ったら、たまたま乗り合わせた年配の仲居さんが私を追ってきて平謝りです。あとで聞いたら、ひと月半前に勤め始めたばかりの新米だそうです。

ホテルの教育もありますが、これは本人の資質の問題ではないでしょうか。

降りる客を待たずに電車で我先に乗ろうとするのと同じです。

また沸々とした気分になりましたが、合流したレイチエルと気を取り直して夕食会場へ行き、4人は入れない、せいぜい 2 人の狭い個室に通されました。

今夜は和食会席膳ということで部屋のランクを落として、宿泊料金は前夜より高いコースを選びました。その差額 4~5 千円/人もあり、部屋その物は津軽海峡を眺めることのできる良いお部屋でした。

ただし部屋付の露天風呂はありません。

さて、出てきた料理はというと、おつまみとして小さい貝の詰め物、刺し身の盛り合わせが鮪（中トロと赤身）5切れずつと甘海老が 1 匹ずつ、イカの刺し身が少々。地鶏の恵鶏を使用したという鍋物。これは少し美味しい。ズワイ蟹の足が 2 本ずつ、これは昨日の冷凍とは違い、蟹の味がしました。さらに焼き物はホッケですが、あぶらがのって美味しいです。揚げ物は何だったのだろう。なにも出なかったとレイチエルは言っています。あとは、釜飯、イクラご飯、

とろろ麦飯と茶碗蒸しで終わりとのこと。これじゃあ前回の〇絵と同じじゃ！

函館駅前の食堂もぼったくりで不愉快でしたが、函館の町そのものが観光がおもな収入源のひとつなのに、観光客をなめ切っている。

私の不満を察知したレイチエルは併設してあるバイキングのテーブル群から 3 皿持ってきます。これが最終的に私を爆発させます。

この階の食事は全て和食会席膳のはず。

それなのに和食と名のつくものはなく、全て中華物。

和食会席を思って日本酒を四合瓶で頼んだ私は激怒。中華料理で口が壊れてしまいました。

苦情を言ったら「これが和食膳です」とのウェイターの答。「私は和食会席膳でお願いした筈だ」と言ったら、受け答えに違う人が出できます。

そこで「お宅の和食会席膳というものはどんなお考えですか？」と尋ねたらまた違う人が出てきそうなので、頭にきて部屋に引き返しました。

これだったら夜の街をさまよい「るるぶ」紹介の店を訪ねたほうがよっぽど気が利いている。レイチエルからなだめられて「今日はくたびれているからマッサージをお願いしましょう」ということでマッサージをお願いしました。

部屋の前で一緒になったのか、ここの宴会支配人という人とマッサージ師が同時に入ってきました。支配人には「あとからお願ひします」ということで、帰って頂きました。

さてマッサージ。温泉場のマッサージ師は身の上話をする人が多く重い気分になるので、話を始めると「すみません、少しやすみみたいで」とやんわりお断りをします。

30 年くらい前の山形赤湯温泉のことです。温泉につかり、ゆっくりしたところでマッサージのお姉さんをお願い致しました。

彼女が言うには「お客様、今日は私にとつて特別な日なのです。実は息子の高校の卒業式があって、やっと旦那に離婚届を置いてきたと

ころです。この日が来るのを耐えて待ちました。」と言って旦那に虐待された話を延々とし、息子の自慢話を延々とされました。

しかもマッサージの腕前は撫でるだけで下手。レイチエルの方がず～～と上手。

「あ～～あ。オラ、疲れた身体がもっと落ち込んでキタダ。他人が別れようが、卒業だろうがそんなのどうでも工工ダ。」終ったあと息子が部屋まで迎えに来て、頼みもしないのに紹介され、どどと疲れた覚えがあります。

連泊だったので次の日もまた頼みました。

昨日の人ではない人をと帳場に念を押しましたが、来たのは同じ人で、帳場で聞いてきたらしく「どうして他の人を指名したのですか？」と今度は私が延々と苛められました。

うるさいので途中寝たふりをしたら料金を2回分取られました。

彼女の旦那様の気持ちも分かります。これに耐えて20年だったのでしょう。

さて函館のマッサージ師、この男性は私と同じような年恰好で、何か感じるものがありました。40歳の途中失明で、病名は視神経萎縮だそうです。ある朝起きたら突然視界が白くなっていたとのこと。

大学病院で原因も分からず治療方法もないという不治の病の引導を渡され、失望するよりも、これからどうやって飯を食っていこうかと考えることの方が先だったと話します。

そしてさらに盲学校の話は凄惨でした。

子宮外妊娠を契機に失明した人、縁内障の痛みに耐えかねて眼をえぐり取ってもらった人、

若くして事故で頭部を打ちそのまま失明した人など等さまざまでした。

彼は以前大工だったそうですが、奥さんは失明を機に小学六年生の息子を置いて家を出て行つたそうです。奥さんにも色々な事情があつたのでしょう。その奥さんも昨年60歳で亡くなつたそうですが、立ち会つたのは息子さんだけだったとのことです。

しかしこれらは全ていつでも誰にでも起き

うことです。

人生一寸先は闇ということを思います。

さて頭にきて、ろくに夕食を食べなかったのでお腹が空きました。そこでレイチエルとホテルのなかの居酒屋に入り、函館山の夜景を観ながらラーメンを食べました。あっさり味で、これがまた美味しいラーメンでした。

居酒屋の窓からは、お昼には見えなかった函館山の灯りが、今は頂上まで見えます。

8月31日(日)

朝一番で一階の展望露天風呂に行きました。

朝ご飯の前に昨日の支配人がお話をしたいとのことで電話があり、室内で話すことができました。一夜明けると私も平常心にもどり、笑いながら穏やかに話しました。

その話では、あのような食事を『和食会席膳』としてお出しするのは当方としても恥ずかしい、早速その標記をホテルのパソコンから外すこと。但し今日現在(9月2日)じやらんのネットを見るとまだそのままで。

従業員のことでも大変恥ずかしいと平謝りです。たしかにあちらこちらのホテルや旅館などで「和食会席膳」というものを食べましたが、こんな粗末な御膳は初めてです。食材費はいくらかかっても1000円程度です。程度の良い和定食と思って下さい。支配人いわく、これが当ホテルの弱点だと話されました。

しかし気に食わない。和食会席のバイキングのテーブルに置かれていた中華の食材はサービスで置いているだって？ということは無料かよ。あれで和食会席膳のお料理はすべてか？和食で足りなかつた人たちはホテルのお情けで中華をおいてやるから、それを喰えだって。

だったら漬物くらい分かるようにして置いておけ。

お粗末なこの発想は「○絵」と一緒だ。

これは彼を責めてもどうしようもありません。その上の経営者の問題です。

皆さん、これが日本国内に名前が知れ渡つて

いるプリンスホテルというものです。

これから初めてのホテルを利用する時は、料金が高く一見豪華メニューを語るホテルには、メニューの事前提出を求めようかと思います。

朝ご飯を食べていたら支配人が朝獲りイカの刺し身を持って来てくれました。

私は注文していないと言うと、「お詫びの印です」とのこと。「私は酒田に住んでいて、当地もイカの漁獲量は多いから珍しくもないからりません」とお答えしても「近海の朝獲りと言って味が違いますから是非おためしください」と話されます。

確かに肉の部分が透き通り、酒田で見るイカとは違うです。しかし魚もそうですが、獲れ立てといつても美味しいとはかぎりません。

このイカも歯ごたえなど鮮度は抜群でしたが、お味の方はイカの持つ甘みがありません。

でも支配人のお気持ちを嬉しく思いました。

さらに「昨晚のお飲み物代金は頂きません」と話されましたが断乎固辞。「絶対するな！」と言いました。そんなことで怒ったのではない、本当に頭にきたから怒ったのだ。

飲み代、せいぜい2～3千円ですむほどの安い男と見られたなのかな。

でもレイチエルは大変だなあ。いつもあちらこちらでぶつかっている旦那を持って。

彼女いわく「逃げるのならとっくに逃げています、慣れました。 貴方は、嘘は言っていない」とのこと。

昨日函館駅前のパエジヤで失敗したので今日は気合をいれてバスケットを予約します。

チェックアウトは11:00で、フロントで精算をしたら、やはり飲み物の請求はなく、支配人は外出中とのことです。

くそ、やりやがったな！ 酒田に帰ったら銘菓古鏡に、この旅行記を添えて送ってやる。

しかしこの支配人は、最後まで誠実で誠意のある態度で対応してくださいました。ありがとうございます。ただ、前に勤めていたと思われるニセコプリンスホテルの、少しくたびれた感

じの名刺を出すのはやめようね～～。

湯の川温泉駅からチンチン電車で杉並町へ乗ること15分。12:00の予約より少し早く着いたので、隣にある遺愛女子中学校・高等学校にある国指定の重要文化財の遺愛学院本館(通称ホワイトハウス)に行きました。

正門から入る構内の雰囲気は緑が多く、ミッションスクール特有の落ち着きを感じます。

遺愛学院本館に特筆すべきものではなく、大正時代の木造建築があるだけです。

時代がくれば重要文化財になれるのだったら、大正生まれのひとは全て重要文化財じゃい。

12:00にちょっと遅れてバスケットに着きました。

パエジヤの他に一昨日出されたオードブルを注文します。

奥様が「一昨日お出ししたのとまるっきり違う物をお出ししましょうか？」とこちらの挑戦心をあおります。

私は、「それでお願いいたします」とお答えしました。



(バスケットにて)

まず飲み物はスペインのビール。

これも比べるならばベルギービールに似ており、コクがあります。

ワインをレイチエルは赤、私は白をお願いしました。

赤に関しては昨日のお昼に飲んだ方が口に合い、こちらは若干軽く渋みがあります。

ところでこの白ワインは今までに飲んだことがない独特的のクセがあります。

果たして料理に合うのでしょうか？

結果から言えばオードブルとは溶け合いませんでした。

このオードブルに合う飲み物は難しい。日本酒も駄目だろう。しいて言うならば今日出されたスペインのビールだと私は思います。それもがぶ飲みはいけません。ちびりちびりです。

10分位してから出てきたオードブルは10品でした。

①シーラのカルパッチョ②自家製野菜のピクルス③イ貝を煮付けて冷やした物④タラの胃袋のトマト煮⑤合鴨の肝⑥クリームコロッケ⑦白身魚のかわ包み⑧鮑の肝のペースト⑨ずわい蟹のカクテル。全てが珍味と言えます。

オードブルを食べ終えた頃に、おもむろに⑩生ハムをのせたワゴンが出てきます。

そこでシェフの深谷氏が登場し、目の前でハムを削ぎ始めました。

シンスライスされたこの生ハムの美味かつたこと、口の中いっぱいに美味しさが拡がります。

これは今まで食べたことのない美味しさで特筆すべきものです。

ただしお目当てのパエジヤ、これも東京駅の駅弁の方が私の口には合いました。

肉身の痩せたムール貝はいただけません。

しかも2人前というのに一つでしたので喧嘩のもとです。

しかしこれだけ素晴らしい料理を創作しながら、シェフの深谷さんの謙虚さには学ぶべきものが多いと思いました。

東京理科大の工学部出身で、大学の助手をしていた時に料理に目覚め、転身したとプロフィールに書いてあります。

2年に一度店を閉めてスペイン、バスク地方に学びに行くそうです。

食べ終えてから函館駅前に向かいますが、チ

ンチン電車から外をながめていたら、若い人の集団が派手な衣装を着て移動しています。

興味があるので途中で降りてついて行ったら「よさこいソーラン」道南大会の会場に着きました。

5分程度の演舞のなかで競っており、なかなか見応えがあるものもありました。

やはり参加人数の多い団体は迫力があります。観客数より踊り子の方が多い感じです。

激しい演舞の集団の他に、印象に残ったのはド派手な黄色の浴衣をまとった、下は8歳から上は82歳の女性たちで、平均年齢67歳という話です。

その名も「ババーズ」という集団が、空気入りビニール製のギターを持って演じた演舞でした。歳を感じさせぬ動きには驚かされます。

演舞が終わり、函館駅まで歩いて行きます。ここ函館駅前の朝市の賑わいは、店舗面積では30年以上前の10分の1程度でしょうか、ここも随分寂しくなりました。



(函館朝市にて)

15:42 発の白鳥号に乗り青森駅へ。

青森駅前。ここは以前も今も見るべきものは、な～～んにもありません。

そこで30分ほど待ち合わせて、予約で満席のゴロンとシートに乗り込み、酒田へ向かいます。

息子の出迎えありがとうございます。

『ディズニーランドの思い出』

山形地区 会員番号 851 長沼 照幸

うちの家族は妻と娘の3人で、ほかに10年生きているお祭り金魚が1匹。娘は今年で小6になるが、これまでディズニーランドに連れて行ったことがなく、「中学校で部活が始まると行けなくなる」とのことから、この春休みに行くことになった。

1日目は主に車移動。朝家を出発し、高速を飛ばし昼頃には都内に入った。

東京に車で行くのは20年ぶりだったので走れるか不安だったが、事前にグーグルマップでシュミレーションしておいたおかげで、なんとか有明のホテルまで到着できた。

途中、荒川沿いの高速を走行中に、「スカイツリーだ！東京タワーも見える！」と娘と妻は大はしゃぎ。高架橋から東京の街を見下ろすのは、新幹線と違い“東京に来た”という感動が大きくなるように感じた。ホテルのチェックインをすませ、お台場をぶらぶらしたあと明日に備え早めに就寝。

2日目は朝4時に起き、支度してすぐチェックアウト。当日宿泊するディズニーランドホテルに直行した。このホテルはディズニーランドの正面に位置し、その日宿泊する人は早朝からホテルに車を停められる。入場券もホテルフロントで購入できるため、すごく便利だった。

日の出前、スマホの地図でランド入場口を探していると、薄暗いところに人の姿が。「ゲ・・・」近づくと、まだ5時前だというのに入場口にはすでに人が並んでいた。その後も人がどんどん集まり、オープン前には広場一面、人で溢れた。初めて見るお祭り騒ぎのような混雑に家族3人眠気も吹き飛んだ。

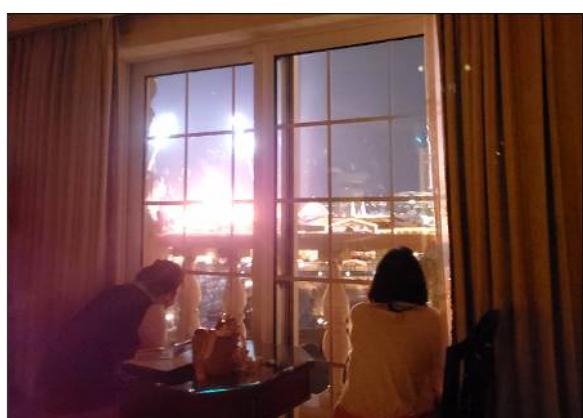
入場し自分はファストパス（乗り物の予約券）を取りにダッシュ。妻と娘はアトラクション乗り場へ急ぎ、うまくスタートすることができた。スタートで遅れを取ると、待ち時間が長かったりと、効率よく遊べないとことである。インターネットからいろいろ情報を集め3人で作戦を立てた

のが成功した。

ビッグサンダーマウンテンは3人ともハマった。ジェットコースターが大好きな娘は目をキラキラさせて、「おもしろかった！おもしろかった！」と興奮気味。3回目には「両手万歳で乗ってみよう」と娘が言うので、3人で両手を上げて乗ってみた。「ダーダー」と子供のように叫びながら乗つたら、疲れがふつ飛んでスッキリした。

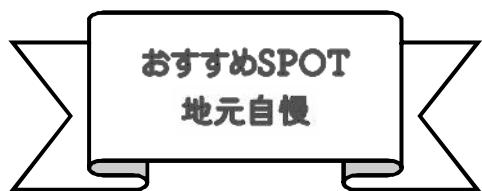


バズライトイヤーは娘だけがハマった。へんてこりんな宇宙船に乗って、宇宙人にレーザーを当てる攻撃するものだ。「よくこんなもの面白いが？」と別なものを勧めるが、「楽しい」と言い4回も付き合わされた。結局朝から19時まで遊んで、その後ホテルの部屋からランドの花火を3人で眺めた。



3日目、ホテル宿泊者の専用のゲートから、オ

オープン15分前にランドに入場。余裕でファストパスの1番目をゲットする。その日も前日同様乗り物中心。「せっかくだからミッキーと記念写真撮っぺ」と娘に言うが、「遊んでたほうがいい」とのこと。聞くと「中身は人だからイヤだ」らしい。それもそうだが・・・、それを言ったらおしまいである。



「名産品」「お祭り」「グルメ」「観光地」などなど、皆さん地元のご自慢情報を紹介して頂くコーナーです

天童・寒河江地区 会員番号 776 清野 一司

“ひだり♪～ひだり♪～ひだりじゃないよ♪
ここは♪～ここは♪～あてらざわ(左沢)!!”

テレビで一度は見たことがあるんじゃないでしょうか。山形テレビの『山形ふるさとCM大賞』受賞作品で、毎日ながれている大江町のCMです。大江町は山形県の中央に位置し、山形駅から西へJR左沢線で40分、終着駅の『左沢』が大江町の玄関になります。

今回は、私が57年間暮らした、ふるさと左沢を紹介します。

私のおすすめスポットは『楯山公園』です。子供のころは日本一公園と呼ばれおり、日が暮れるまでずっと遊んでいました。左沢駅の北側の高台にあり、地元の豪族大江氏の左沢楯山城跡地にある公園です。



【あずま屋からの眺望】

頂上のあるあずま屋からは、眼下に迂回する最上川

帰る間際に、幸運にもステージショーの抽選に当選したので、帰る時間を遅らせ、ショーを見てからディズニーランドを後にした。

帰宅後、全てのアトラクションが制覇できず心残りだったのか、娘と妻は「また行く！」と言っている。我が家ではディズニーランドの思い出が、しばらくの宝物だろう。

天童・寒河江地区 会員番号 776 清野 一司

の雄大な流れと、眼鏡橋や左沢線の線路、湖畔に形成する左沢の町並みのコントラストが絶景です。また朝日連峰と蔵王の山々を眺めることもできます。

この場所は、全長224kmある最上川の中でも絶景とされており、数多くの画家や写真家が県内外から訪れるほか、この眺望の良さから平成9年には最上川ビューポイントに、平成14年には日本遊歩百選に選定されております。

また山形県を代表する民謡『最上川舟唄』の誕生の地でもあり、公園の頂上には『最上川舟唄碑』が建立されております。



【最上川舟唄碑とあずま屋】

そして町内には、2つの温泉が湧出しております。町内外からの多くのお客さまで賑わっている、『テルメ柏陵健康温泉館』と『奥おおえ柳川温泉』です。

ぜひ、来てみてけらっしやい !!

本部・支部の主な動き

* 本部理事会及び各委員会等については、本部会報をご覧ください。

～これまでの経過～

区分	年度	名 称	日 程	場 所	備 考
本部	R1	第 31 回定時総会	R1/5/23(木)	秋田温泉さとみ (秋田市)	山形県支部 19名
県支部	H31	支部だより No.56 発行	H31/1/31(木)	—	
		第 3 回支部役員会	H31/2/28(木)	山形ビッグウイング	
	R1	支部通常総会並びに 第 1 回支部研修会	H31/4/24(水)	山形国際ホテル	
		第 1 回支部役員会	R1/6/12(水)	山形ビッグウイング	
		第 2 回支部研修会	R1/7/29	山形ビッグウイング	
各地区	H31	山形地区 第 2 回地区研修会	H31/2/21(木)	瑞宝閣(山形市)	13名
		鶴岡地区 第 2 回地区研修会	H31/2/25(土)	盛華樓(鶴岡市)	11名
		酒田地区 第 3 回地区研修会	H31/2/26(火)	中国四川料理 仁 (酒田市)	5名
		新庄地区 第 2 回地区研修会	H31/3/13(水)	ざくばらん(新庄市)	6名
		天童・寒河江地区 第 2 回地区研修会	H31/3/25(月)	山牛(寒河江市)	7名
	R1	天童・寒河江地区 第 1 回地区研修会	R1/6/27(木)	奥蔵(天童市)	8名
		置賜地区 第 1 回地区研修会	R1/6/27(木)	ゆあーず(米沢市)	9名
		酒田地区 第 1 回地区研修会	R1/6/27(木)	日本料理 ほたる (酒田市)	6名
		鶴岡地区 第 2 回地区研修会	R1/7/11(木)	盛華樓(鶴岡市)	11名
		新庄地区 第 1 回地区研修会	R1/7/24(木)	鳥舟(新庄市)	6名

～これからの予定～

区分	年度	名 称	日 程	場 所	備 考
本部		定期研修会	10月頃	未定	山形、宮城
県支部	R1	電気保安教育研修会	R1/9/12(木)	文化館なの花ホール (三川町)	
各地区		各地区研修会	—	—	

～支部会員の動き～

(敬称略)

区分	地区	氏 名	日 付
正会員	入会	上山 鈴木 敏明	R1/5/14
		鶴岡 板垣 清	R1/7/11
個人賛助	入会	鶴岡 石塚 岳敏	R1/5/14

***** あとがき *****

広報委員 栗田 浩二

元号が『令和』に代わり、新鮮な気分もつかの間、地震や気象災害にとどまらず、凄惨な事件もあとを絶ちません。なかでも、相次ぐ高齢者による交通事故などは、ひとごとではあります。

先刻の参議院選挙では、また同じ政権が支持されたわけですが、期待と不安が交差する思いです。

私たちにできることは、日々自己の責務を肅々と果たしていくことではないでしょうか。



支部だより No. 57
Internet 配信版
令和 1 年 7 月 31 日発行

(一社) 東北電気管理技術者協会 山形県支部
〒990-0863
山形市江南四丁目 10 番 14-10 号
TEL 023-665-1070
FAX 023-665-1071
Eメール info@eme-yamagata.com

編集責任者 広報委員 / 栗田 浩二